

## 別紙

### 温室効果ガス削減計画

#### 1 事業の概要

(1) 事業所の名称

リョービミラサカ株式会社

(2) 事業所の所在地

広島県三次市三良坂町皆瀬75

(3) 業種

2453 アルミニウム・同合金ダイカスト製造業

(4) 従業員数

420名

(5) 事業所位置図

別紙（平面図）のとおり

#### 2 計画の期間

本計画の期間は、平成18（2006）年度を基準とする平成25（2013）年度から平成27（2015）年度までの3年間とする。

#### 3 計画の基本的な方向

リョービ（株）のグループ会社である当社は、「リョービ環境方針」の下に活動しています。

「リョービ環境方針」

リョービは、環境マネジメントシステムを構築し、事業活動、製品及びサービスによる環境への影響が大きい項目に関して、技術的及び経済的に可能な範囲で、目的・目標を設定、見直しを行い継続的な改善を図る。また、これらの活動を通じて経営計画の達成を図るとともに社会の発展に貢献する。

1. ISO 14001 規格要求事項に沿った規定を制定し、実行する。
2. 環境関連の法律、規制、協定又は関連する組織が同意する環境関連要求事項を遵守し、環境汚染を予防する。
3. 省エネルギー、廃棄物の減量化及び再資源化に取り組む。
4. 緊急時に廃油、灯油、重油、廃液、薬品、化学物質等が環境に著しい影響を及ぼさないよう予防措置に努め、訓練を行う。
5. 全構成員の環境に対する意識の向上を図るため、教育・啓蒙活動を行う。
6. 環境保全活動を通じて、地域社会に貢献する。
7. この環境方針は、全構成員に周知させるとともに、一般の人にも公開する。

#### 4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

##### 【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	活動の区分	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )		
		平成2年度	基準年度 平成18年度	直近年度 平成24年度
二酸化炭素	燃料の使用	15,600	20,561	14,703
	他人から供給された熱の使用			
	他人から供給された電気の使用	13,918	22,117	27,988
合 計		29,518	42,678	42,691

##### 【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	活動の区分	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )		
		平成2年度	基準年度 平成 年度	直近年度 平成 年度
二酸化炭素	無し			
合 計				

##### 【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	活動の区分	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )		
		平成2年度	基準年度 平成 年度	直近年度 平成 年度
メタン	無し			
一酸化二窒素	無し			
HFC PFC SF <sub>6</sub>	無し			
合 計				

## 5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO<sub>2</sub>)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成18年度)	削減目標		目標年度 (平成27年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO <sub>2</sub>				
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>				
メタン				
一酸化二窒素				
フロン類				
総排出量				

※ 削減率(b) = (c)/(a) × 100      削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位：生産量

単位：排出量 (t-CO<sub>2</sub>)，原単位量 (t)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成18(2006)年度)			原単位 削減目標	目標年度 (平成27(2015)年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	42,678	37,195	1.147	9.0	35,496	34,000	1.044
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
総排出量							

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100      原単位(c) = (a) / (b)      原単位見込(g) = (e) / (f)

## 6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

### ○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	燃料使用量の削減	重油使用量を原単位で9%削減	1、溶解炉の内壁(耐火物)更新による溶解効率向上 2、溶解炉のバーナー、換気設備更新による溶解効率向上 3、溶解炉前炉の遮熱塗装による溶湯保持効率の向上 4、天然ガスへの切替検討
2	電気使用量の削減	電気使用量を原単位で9%削減	1、電気保持炉の計画更新 2、電気保持炉の遮熱塗装による溶湯保持効率の向上 3、省エネタイプの照明の採用 4、省エネ・高効率タイプの設備採用 5、照明、冷暖房の削減、適正使用 6、インバータコンプレッサーの採用

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

### ○ 環境に配慮した実践的な取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	廃棄物の削減	リサイクル率を97.5%以上に向上	1、焼却、廃棄物のリサイクル化推進
2	社会貢献	環境保全活動を通じて地域社会に貢献する	1、会社周辺の県道清掃の実施 2、アルミ缶回収の収益金等による福祉機材の寄贈を実施

## 7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

### (1) 推進・点検体制

ISO 14001 の環境マネジメントシステムの推進体制とします。

部会長 副部会長	(内線)	部会責任者	(内線)	部署	推進責任者	
<部会長> ト部 一人	---	鈴木 武 大村 元宏	990-896 990-451	1	TPMセンター	山根 由裕
				2	総務	鈴木 武
				3	経理	鈴木 武
				4	管理	益川 忠士
				5	加工	佐々木 学
				6	品管	伊月 孝
				7	検査	大谷 修治
				8	工務	黒瀬 善弘
				9	金型	中野 新市
				10	鑄造一	松岡 晋吾
				11	鑄造二	中野 新市
				12	鑄造三	井出岡 宏一
				13	鑄造技術	山口 広造

(2) 実施状況の点検・評価

定期的な内部環境監査及び外部監査等により、達成状況の確認と未達成項目の改善計画を確認しており、その結果をふまえて、次年度の環境目的、目標に展開しています。

(3) 計画の公表

リョービグループの環境報告書で毎年の状況を公表しています。